

令和6年度における地域と連携した活動と成果

【鎌田小学校】

活動の種類	授業支援活動
活動の名称	学習支援ボランティア
実施時期及び回数	1, 2 学期
対象にした児童・生徒の学年及び人数	5 年生児童 33 名 6 年生児童 40 名
活動に関わる地域住民の人数	約 14 名
地域住民の活動への関わり方	5 年生・6 年生の家庭科の学習における実習補助。針穴への糸通しや基本的な縫い方、ミシンの使い方等で躓いている児童への対応を学習支援ボランティアが担うことで児童の作業がスムーズに進み、教員一人では補助することができなかった児童が減ったことで学習予定時間に作品を仕上げる事ができた。また、調理実習では 1 班に一人の学習支援ボランティアが付くことで怪我なく安全に調理を終えることができた。教員が最後に行う各班の流し台等の片づけも、児童と一緒に丁寧に済ませていただけたことで教職員の負担軽減になった。
概要  	5 年生家庭科授業・・・①基本的な手縫いの練習②ミシンの使い方とエプロン製作③調理実習（粉ふきいも・ガラス鍋での炊飯、おみそしる） 6 年生家庭科授業・・・①ナップサック製作②調理実習（野菜炒め、ジャーマンポテト） どの授業も学習支援ボランティアと教職員が授業目的・進め方・支援における注意点などの打ち合わせを行ったうえで進めることができた。毎時間同じ人が関わるわけではないので授業の前に必ず進め方等の確認を行った。また、授業後には支援の方から目が行き届かなかった点を伝えてもらうことで子供達の様子を教えてもらうことができた。また、教員が指導できていなかった児童に対しての対応が行き届くようになってきた。 調理実習を共に活動するなどして、つながりができ、なかよやかに話をしながら一緒に試食する時間を過ごすことができていた。支援の方からは製作のときとは違った子供の様子が見られて元気がもらえました、といつも伝えてくださる。子供にとっては普段からあまり話すことの少ない年代の地域住民の方と一緒に時間を過ごすことで、新しい気づきをもらえる機会となっていた

活動の種類	環境整備活動
活動の名称	花いっぱい咲かせ隊
実施時期及び回数	毎月第一・三金曜日 9:30～11:30
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童 215名
活動に関わる地域住民の人数	約20名
地域住民の活動への関わり方	委員会活動や縦割りグループ活動での栽培活動などで支援をいただいたり、花いっぱいの学校にするために園芸活動をしたりしていただき、教職員の負担の軽減につながった。
概要 	第一、第三金曜日を基本的な作業日として、活動して下さっている。恵まれた環境を生かし、花に囲まれた中で学習し、心豊かな子供に育てたいという学校や地域の願いのもと、裏庭や職員室前の花壇やプランターに花を植え育てたり、子供達の育てるプランターや鉢の追肥も行ったりして、四季を通して花の溢れる環境作りを行っている。また、縦割りグループ活動での一人一鉢活動においては、子供達が種をまき、芽が出てきたキンセンカと一緒にポットやプランターに植え付けていただいた。委員会の活動と連携し合うこともできた。 どの活動も子供達一人一人に地域住民が寄り添って頂き、子供達も楽しく取り組むことが出来たとともに、教職員の負担の軽減につながった。

活動の種類	登下校の見守り活動
活動の名称	見守り隊
実施時期及び回数	授業日における下校時
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童 215名
活動に関わる地域住民の人数	24名
地域住民の活動への関わり方	登下校時の見守り活動には、地域住民がボランティアの登録をして行っている。 地域住民に登下校の見守りを担って頂くことで教職員の放課後の授業準備や会議・研修の時間を確保することができ、負担軽減につながっている。

概要 	毎日、低学年と高学年の下校時に見守り活動を実施している。児童が安全に自宅の玄関まで帰ることができるように見守り隊は校門に集合し、部団と一緒に枝分かれをしながら最後の１人まで共に歩き安全を確認している。 今年度も全校対象に行われる「交通安全教室」にも参加していただき、通学路をよく知る地域住民の目線で通学路での危険個所の歩き方などを、お話して頂いた。一緒に参加することで、実際の下校時の声掛けにも活かされている。 PTA との意見交流も実施し、互いの思いを伝え合う機会にもなった。見守り活動だけでなく、あいさつや高学年としての自覚を促す声掛けなどもあり、児童と地域住民のコミュニケーションを深める場ともなっている。 また、今年度は高学年のリーダーとしての自覚を促すため、見守り隊のない下校を期間限定で行ってみた。課題もたくさんあるが、次年度に生かしていきたい。
---	---

活動の種類	学校行事支援活動
活動の名称	マラソン大会
実施時期及び回数	２学期
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童 ２１５名
活動に関わる地域住民の人数	３５名
地域住民の活動への関わり方	マラソン大会当日は、危険個所を中心に PTA、地域住民の方が立ち、子供達の安全確保と応援を行っていた。教職員だけでは充分に対応できない、危険個所での安全確保を行っていただき、負担軽減となった。
概要 	当日は、危険個所を中心に PTA、地域住民の多くの方が立ち、子どもたちの誘導や安全確保、そして暖かな応援をしていただき、子どもたちの頑張りにも繋がった。参加した地域の方も「普段はなかなか見ることができない、子供達の元気な姿を間近で見ることができ、とてもよかった」と感想を頂いた。学校行事に地域住民が関わることで、学校と地域の連携や繋がりがより強固なものになると感じる。

活動の種類	その他の支援活動
活動の名称	図書ボランティア
実施時期及び回数	読み聞かせ…月１回、木曜日の朝読の時間 8:25～ 環境整備…読み聞かせの後 8:45～ 修理…月１回程度
対象にした児童・生徒の学年及び人数	全校児童 215名
活動に関わる地域住民の人数	20名
地域住民の活動への関わり方	朝読の時間の読み聞かせでは、それぞれの学年に応じた様々な本を選んで読んでいただいた。色々な本に出会うことで興味の幅が広がり、本好きな子供達の育成につながった。授業に関連のある本も読んでいただき、図書室の図書の購入の参考にもなっている。
概要  	ボランティアの方の近くに移動して読み聞かせを聞く様子が今年度も見られた。あたたかい雰囲気、子供達は自分で読むのとは違った感覚で本の世界に集中して聞いている。 図書の修理とともに、書棚の整理、子供達の図書室利用を促すために、図書室入り口の飾りつけなども工夫されている。市の図書館の方からブックレスキュー隊として、多数の本の修理を丁寧にして下さった。委員会の児童と一緒に痛んだ本の修理をする時間を今年度は設けることができ、自分の修理した本が図書室に置かれていることが、児童のやる気につながった。今後は、修理した本を棚に戻したり、修理予定の本の選定を行ったりと連携して行っていきたい。

活動（教室等）の名称	放課後子ども教室
実施時期及び回数	2，3学期（全12回）
登録している児童・生徒の学年及び人数	5人
活動に関わる地域住民の人数	7人
地域住民の活動への関わり方	前半の活動では、宿題（家庭学習）に取り組み、つまずきなどの学習支援を行っていただき、児童の学習保障につながった。また、普段より鎌田小の学習ボランティアの方が多数スタッフとしていてくださるので、スムーズに活動に取り組んでいる。
概要 	本年度より活動が再開している。夏期休業中にスタッフと打合せをし、必要な備品や活動内容について協議した。活動は、水曜日の放課後に本校図工室を中心に、前半は宿題、後半は様々な体験活動を行っている。体験活動は今までに、三線体験や茶道体験、和太鼓体験やゲートボールなどを行ってきた。基本的にはゲストティーチャーは鎌田校区の方をお願いをし、地域での活動にこだわって活動を行った。